

子どもの放課後居場所づくり
事業の充実を

わたなべ 忠司（未来日本立川・国民民主）



問 子どもの放課後居場所づくり事業は、ニーズがあり、もっと利用しやすい環境、そして放課後の居場所として一層充実させるべきと考えます。放課後子ども教室の代表者会議では、どのような課題等が出ているのですか。また、放課後子ども総合プランに沿った放課後子ども教室と学童保育の一体化による実施の検討について、進捗状況を伺います。居場所づくりに、市も積極的に取り組んでいただきたいが、サポート体制等はどうなっていますか。

答 現在の課題は大人の活動スタッフがなかなか増えない点、また各教室とも、他地区の教室の事業についての情報が不足している点です。学童保育所は、必ずしも学校の敷地内にあるわけではなく、また運営形態が直営、民間委託及び指定管理者と三様になっているため、調整が難しく、検討は具体的には進んでいません。市では、スタッフ募集のチラシ配布や必要な情報の提供等のサポートを行っています。

予算特別委員会での主な質問項目

- 立川駅周辺の安全・安心推進事業について
- 基幹系システム構築運用事業について
- 少年団体リーダー研修事業について

女子中学生の制服にスラックス導入を

伊藤 大輔（未来日本立川・国民民主）



問 中野区と世田谷区では全中学校で、本市でも第二中学校で寒さ対策、動きやすさ、LGBTへの配慮として女子の制服にスラックスを選ぶようになります。現在は学校ごとの対応ですが、「女性だからスカート」という考えを変え、市として全校で選択できるようにできませんか。兄妹間でのお下がりや、制服のリサイクルでもプラスに働きます。新たな選択肢を増やし、わざわざ個人が申請をしなくても選べる環境をつくっていただきたい。

答 制服については、各校がLGBTや多文化共生、人権尊重等の視点から、生徒に寄り添っていくことが一番大事だと校長会等で周知しています。教育委員会で統一の方針を定め、スラックスとスカートの選択制にすることのデメリットはほとんど考えられませんが、学校が自立して、みずから考え、判断していくという方向性もあるので、教育委員会による一律的な形になるのは避けたいと考えています。

予算特別委員会での主な質問項目

- 移動支援について
- アイムホールの改修について
- 選挙事務について
- 避難情報の伝達手段の多重化について

一般会計予算に対する討論（要旨）

たちかわ自民党・安進会



少子高齢化等に対応しつつ、
持続可能な行政運営を

- ▶まちの回遊性を意識した、立川駅北口デッキからサンサンロードへのエスカレーター設置工事や南口58街区の都との合築施設の具体化等を評価する。
- ▶児童虐待対策や発達支援が必要な子供への支援、市民と協働したコミュニティスクールなどの取り組みをさらに推進されたい。
- ▶「立川市自治会等を応援する条例」の施行を評価する。より一層の自治会支援策の実施を。
- ▶農産物の特産品、ブランド化の取り組みを評価する。

日本共産党



市民の生活に心を寄せ、暮らしを守る姿勢を

- ▶国民健康保険料の値上げにより、三多摩で一番高い保険料となる。前年と同様に繰り入れを行い、値上げ回避を。
- ▶立川駅北口デッキのエスカレーター設置は必要なく、自治会や商店街、高齢者の要望に予算を使うべき。
- ▶保育園及び学童保育所の待機児童解消に、引き続き努力を。

立憲民主・たちかわ



ハードからソフトへ転換した施策の実施を

- ▶立川駅北口デッキエスカレーター設置費用は、市全体の「地域福祉」等に充当されるべき。
- ▶訪問型暮らしの保健室等の、住み慣れた家で暮らし続けられる医療・介護連携事業を評価する。

NHKから国民を守る党



緊張感を持ちつつ、質の高い行政経営を

- ▶市民の幸福満足度が高まるようなまちづくりや、公共施設再編個別計画等の課題への取り組みに期待する。

公明党



市民に寄り添いながら、
持続可能な行政運営を

- ▶中学校への特別支援教室の設置、小中学校のトイレ改修や特別教室へのエアコン設置を高く評価する。
- ▶高齢者向け「あんしん見守り機器設置助成制度」の導入を評価するとともに、高齢者の居場所づくりや移動弱者への支援体制の確立を求める。
- ▶防災対策として、すべての一次避難所へのLED投光器整備や、街路灯等のLED化の推進を評価する。

未来日本立川・国民民主



世代を超えて、選ばれるまちづくりを

- ▶児童虐待対策においては、経験豊富な専門職員の配置や関係団体と連携し、誰もが安心して子育てができるまちづくりをされたい。
- ▶子育てや防災分野においてもICTを活用し、民間の力も借り、情報提供手段の多重化に早期着手を。

マキおこせ！市民力



市民目線の行政経営で、魅力ある立川に

- ▶保育園の待機児童解消の成果を評価する。今後は「保育の質」の確保に期待する。
- ▶自治会の課題に寄り添い、財政支援をし、若年層や子育て世代が参加しやすい環境づくりを。

緑たちかわ



ハードからソフトへ、福祉に根ざした市政を

- ▶立川駅北口デッキエスカレーター設置工事を中止し、子どもの貧困対策や生活困窮者支援等の福祉施策や、国民健康保険料の値上げ中止の費用等とすべき。